



フェアな価格 確かな信頼

ジャパン石油製品

Japan Products

★RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 7371 Mar. 01 2017

Copyright (c) 2017 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

東京時間2017年3月1日水曜日17時<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

◎アセスメントメソロジーの変更について

2月27日から以下の2点を変更しました。

- ①ガソリン、灯油、軽油について、市況連動取引の価格評価のうち、売買唱えについては固定値を優先可能な文言を付け加えます。
- ②「評価の方法」として、成約については「情報ソースとして信頼すべき複数の第三者から伝えられたもの」も評価の対象とする。

◎アセスメントメソロジーの修正について

2月27日から以下の3点を変更しました。

- ①評価の方法において、成約を評価の対象から外す背景について説明を追加
- ②評価市場に「TOCOM Window」を加えた。
- ③評価時間帯の文言修正

なお、2月27日からのアセスメントメソロジーは当日、弊社HP上で公開済みです。

◎LNG年鑑2016発刊

2014年版で好評を博した『LNG年鑑』が2年ぶりに発刊。好評発売中です。

詳しくは[こちら](#)をクリック。

お問い合わせ／リム情報開発 LNGチーム [TEL:03-3552-2411](tel:03-3552-2411)

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [Bunker](#) [LPG](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ローリーラック](#)
[石油化学](#)

[RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#)

東京時間2017年3月1日水曜日17時<Assessment Closing Time>

◎国内石油製品海上バージスポット市場（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 54,000~ 54,800+	54,400	+200	-500/+300
灯油	+ 49,300~ 50,200+	49,750	+550	-600/+300
軽油0.001%S	+ 50,000~ 51,000+	50,500	+500	0/+1000
A重油1.0%S	+ 48,200~ 49,200+	48,700	+200	-500/-200
LSA重油0.1%S	+ 48,400~ 49,400+	48,900	+200	-300/+100
LSC重油0.3%S	43,500~ 44,500	44,000	+0	-500/+500
HSC重油3.0%S	38,500~ 39,500	39,000	+0	-500/+500

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	+ 53,800~ 54,800+	54,300	+400	-700/+300
灯油	49,200~ 50,000	49,600	+0	-700/+100
軽油0.001%S	+ 50,000~ 51,000+	50,500	+500	0/+1000
A重油1.0%S	+ 48,200~ 49,200+	48,700	+200	-500/+500
LSA重油0.1%S	+ 48,400~ 49,400+	48,900	+200	-500/+500
LSC重油0.3%S	43,500~ 44,500	44,000	+0	-500/+500
HSC重油3.0%S	38,500~ 39,500	39,000	+0	-500/+500

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

◎国内石油製品ペーパースワップアセスメント（国内製油所バージ取り・円/kl）

	3月	4月	5月
ガソリン	+ 54,000~ 55,000+	- 53,800~ 54,400-	- 54,100~ 54,700-
灯油	+ 49,400~ 50,400+	+ 49,900~ 50,500+	+ 49,200~ 49,800+
軽油0.001%S	+ 49,500~ 50,500+	+ 49,500~ 50,500+	+ 49,500~ 50,500+
A重油1.0%S	+ 48,200~ 49,200+	+ 48,200~ 49,200+	+ 48,200~ 49,200+
LSA重油0.1%S	+ 48,400~ 49,400+	+ 48,400~ 49,400+	+ 48,400~ 49,400+
LSC重油0.3%S	43,500~ 44,500	43,500~ 44,500	43,500~ 44,500
HSC重油3.0%S	38,500~ 39,500	38,500~ 39,500	38,500~ 39,500

◎東京商品取引所石油先物（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
4月限	53,840	53,870	53,290	53,290	-280	62
5月限	54,080	54,080	53,630	53,630	-370	144
6月限	53,930	53,990	53,460	53,460	-490	160
7月限	53,490	53,920	53,490	53,820	+100	199
8月限	53,020	53,500	53,020	53,140	+110	779
9月限	52,070	52,740	52,070	52,690	+490	1,165

合計 2,509

灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
4月限	49,020	49,370	49,000	49,360	+470	30
5月限	47,980	48,660	47,980	48,660	+600	49

6月限	47,640	48,200	47,640	48,200	+680	36
7月限	46,910	48,180	46,910	48,180	+850	98
8月限	47,610	48,470	47,610	48,350	+800	681
9月限	48,240	49,170	48,240	49,010	+800	802

合計 1,696

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
4月限	-	-	-	46,000	0	-
5月限	-	-	-	46,000	0	-
6月限	-	-	-	46,000	0	-
7月限	-	-	-	46,000	0	-
8月限	-	-	-	46,000	0	-
9月限	-	-	-	46,000	0	-

合計 -

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
3月限	38,950	39,330	38,820	39,280	+410	49
4月限	38,880	39,340	38,860	39,280	+430	234
5月限	38,950	39,270	38,800	39,210	+480	401
6月限	38,710	39,190	38,710	39,150	+430	971
7月限	38,650	39,110	38,640	39,070	+420	5,042
8月限	38,600	39,050	38,600	39,020	-	1,201

合計 7,898

取組高(2/28) :

	売	買	
ガソリン=	7,986	7,986	
灯油 =	4,452	4,452	
軽油 =	0	0	
原油 =	143,243	143,243	1枚=50kl

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)

ガソリン	53,250	+250	灯油	50,700	unch.
未課税軽油0.001%S	51,000	unch.	A重油1.0%S	49,200	unch.
LSA重油0.1%S	49,700	unch.			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)

16/12/01-31	33,184	17/1/01-31r	39,043	17/2/01-28	3月22日発表予定
16/12/01-10	33,392	17/1/01-10	37,632	17/2/01-10	39,186
16/12/11-20	32,717	17/1/11-20	39,213	17/2/11-20	3月8日発表予定
16/12/21-31	33,385	17/1/21-31	39,778	17/2/21-28	3月22日発表予定

r=修正値

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)

2月39,160円 前日比±0円 3月39,970円 前日比+280円 4月40,750円 前日比+770円

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ナフサ	- 501.75~503.75 -	40,179	2.75/ 3.75
ジェット/灯油	- 66.85~66.95 -	48,043	0.85/ 0.95
軽油 0.001%S	- 68.40~68.50 -	49,156	1.30/ 1.40
重油 380cst 3.5%S	- 337.75~338.75 -	37,653	16.50/ 17.50
重油 0.3%S	- 405.50~415.50 -	45,695	80.00/ 90.00*
M100重油	- 354.50~356.50 -	39,573	29.00/ 31.00

円ドル換算レート (TTS 円/ドル 3月1日現在) 114.17 *密度0.95

**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ジェット/灯油	- 65.40~ 65.50 -	46,590	-0.60/ -0.50
米西海岸向け軽油	- 67.25~ 67.35 -	47,907	0.15/ 0.25
軽油 0.001%S	- 67.00~ 67.10 -	47,729	-0.10/ 0.00
重油 380cst 3.5%S	- 319.75~322.75 -	35,447	-1.50/ 1.50

円ドル換算レート (TTM 円/ドル 3月1日現在) 113.17 還付金の2,800円を含まない

◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	- 54.40~ 54.50 -	-0.05/ 0.05
ジェット/灯油	- 65.90~ 66.00 -	-0.10/ 0.00
軽油 0.001%S	- 67.20~ 67.30 -	0.10/ 0.20
軽油 0.05%S	67.15~ 67.25	0.05/ 0.15
軽油 0.5%S	- 65.95~ 66.05 -	-1.15/ -1.05
重油 180cst 3.5%S	- 324.00~325.00 -	-1.50/ -0.50

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格

	スポット価格	プレミアム
0.35%LSWR(\$/mt)	-377.50~379.50 -	52.00/54.00*
0.35%LSWR(\$/bbl)	- 55.50~55.80 -	

*シンガポールペーパーズワップ180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)

	3月	4月	5月
ナフサ	- 54.40~ 54.50 -	- 54.05~ 54.15 -	- 53.80~ 53.90 -
ジェット/灯油	- 65.95~ 66.05 -	- 66.30~ 66.40 -	- 66.60~ 66.70 -
ジェット/軽油格差	- -1.15/ -1.05 -	- -0.65/ -0.55 -	- -0.30/ -0.20 -
0.05%S軽油	- 67.05~ 67.15 -	- 66.90~ 67.00 -	- 66.85~ 66.95 -
180cst 3.5%S重油	- 325.25~325.75 -	- 324.50~325.00 -	- 324.75~325.25 -
380cst 3.5%S重油	- 321.00~321.50 -	- 319.00~319.50 -	- 318.75~319.25 -

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)

	3月	4月	5月
ナフサ	-0.60	-0.95	-1.13
ジェット/灯油	10.95	11.30	11.67
軽油	12.05	11.90	11.92
180cst 3.5%重油	-4.97	-5.09	-4.98
380cst 3.5%重油	-5.63	-5.93	-5.90

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)

	180cst		380cst		MGO	
東京湾	362.00-365.00	-2.00	355.00-358.00	-2.00	478.00-488.00	0.00
西日本	366.00-369.00	-2.00	359.00-362.00	-2.00	491.00-501.00	0.00
伊勢湾	367.00-370.00	-2.00	360.00-363.00	-2.00	478.00-488.00	0.00
韓国	372.00-374.00	0.00	351.00-354.00	0.00	513.00-523.00	0.00
シンガポール	361.00-363.00	+1.00	327.00-330.00	-2.00	493.00-503.00	0.00

◎韓国出しSR船型輸入採算価格(関税・石油石炭税込み 円/kl)

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		A重油	
北海道	53,536	-341	54,133	-13	55,004	+239	49,802	+230
京浜	53,321	-342	53,918	-14	54,789	+239	49,587	+229
中京	53,105	-344	53,702	-16	54,573	+237	49,371	+228
関門	52,818	-345	53,415	-17	54,286	+236	49,084	+226

◎マーケットコメント

○元売り市中調達 **トッパー停止数・1基・計ゼロ 停止率=ゼロ**

1日の市中調達はガソリンが計1,500kl。民族系最大手元売りが京浜玉500kl、阪神玉1,000klをいずれも54,900円で買い付けた。売り手はディーラー2社。市場関係者によると、同元売りはこのほか軽油、A重油、LSA重油を手当てした可能性もあるようだ。

○ガソリン 京浜・前日比200円高の54,000~54,800円 西日本・前日比400円高の53,800~54,800円

<概況>スポット市況は上昇。先物市況は軟調で推移したが、元売りの買い気を受けて、相場は切り上がった。ペーパー swaps を基準としたこの日の月間平均フラットは、東西ともに54,500円。市況連動商談は京浜が月間平均レス500~プラス300円、西日本が月間平均レス700~プラス300円となった。

石連が発表した19~25日までの石油統計によると、同期間のガソリンの得率は前週比2.0ポイント減の25.1%だった。前年同期(21~27日)と比較した在庫は、東日本が2.3%少ない94.9万kl、西日本が5.4%多い76.0万kl、全国では1.0%多い171万klだった。

<成約>

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	OTC	500	54,900		
京浜	OTC	1,000	市況+300		54,800
阪神	OTC	500	54,900		
阪神	OTC	500	54,900		
阪神	OTC	500	54,600		

<元売り市中買い> 民族系最大手元売りが京浜、阪神でそれぞれ調達に動いた。複数の市場参加者が明らかにした情報によると、京浜玉500kl、阪神玉500kl×2の計1,500klを、いずれも54,900円で手当てした。

<JOF 市場> 午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
54,650(200kl)/54,000(300kl)	— /54,800(1,000kl)	— /53,600(200kl)
**700(500kl)/800(500kl)	— / —	— / —

**：ベースが陸上4製油所月間平均値

<京浜渡し>

成約平均値は約54,800円。JOFやOTC市場で提示されたオファーのうち、最安値は54,000円。ルートは「TOCOM」だった。ビッドでは、JOF市場で提示された54,650円が最高値。ただ、同ビッドは「シェル15日までデリバリー」のオプションが付されていた。また、2ロットと小舟でもあるため、市場参加者からは「売り応じることのできるプレイヤーに限られる」(広域ディーラー)との指摘もあった。もっとも、2番目に高いビッドとしては、製油所出で5ロット、54,600円が提示されていた。このため、54,650円でルート指定のあるビッドについては、「ルートが限定されることによるプレミアムは付されていない」(商社)との見方もあった。

<西日本>

成約平均は54,800円。大西では、JOF市場で53,600円のオファーが提示され、OTC市場では54,000円の売りアイデアが寄せられた。成約平均が売唱えを大きく上回っている。

民族系最大手元売りが調達を進めている。買値は54,900円。同社は2日以降出荷分に適用する、系列向け先行指標価格を54,000円に引き上げたが、これを1,000円近く上回る水準での調達となった。市場参加者の中には、原油をベースとしたクラック・スプレッドが15,000円を超えたことを材料視する向きもある。15,000円は、このところのクラック・マージンとしてはまれに見る拡大ぶりだ。このため、市況が天井を打った可能性について懸念し始めるプレイヤーもいた。ただし、実際のところは元売りの出荷率削減を背景とした供給不安と買い気の継続があるため、目立った売り込みも見られず、相場は底堅く推移している。

民族系最大手元売りが阪神玉を調達。54,900円で計1,000klを手当てした。これを背景に商社間で54,600円のショートカバーが入っていた。一方で、大西は買い気が乏しい。前月にはショートポジシ

ヨンに振れていた四国の中堅元売りも、3月渡し商談ではバランスしているようだ。同社からの供給量が增加した形跡はないが、市場参加者の中には阪神と大西の市況格差を指摘する向きもいる。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	949,954	-37,334	1,717,245	-30,997	74,305	-41,501
西日本	760,903	-115,582	934,812	23,925	86,847	69,706

○灯油 京浜・前日比550円高の49,300~50,200円 西日本・前日と同じ49,200~50,000円

<概況>京浜は上伸。一部商社の買い気がみられた。半面、西日本は動意がなく、もち合いとなった。市況連動商談は、京浜で月間平均レス600~プラス300円、西日本では月間平均レス700円~プラス100円。この日のスワップレートは49,900円。

<成約>

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOF	200	50,100	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP+100 円	
京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG 未添加 OP	
京浜	JOF	200	50,700	TG/KYG 未添加 OP	

<元売り向け商談> 民族系最大手元売りが、前日の成約ながら、5,000kl×2を商社から調達したもよう。

<JOF市場> 午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜	阪神	大西
50,200 (500kl) / 49,300 (200kl)	— / 50,200 (1,000kl)	48,200 (200kl) / 49,200 (200kl)
-300 (500kl) / 200 (500kl)	— / —	— / —

<東西渡し>

京浜の成約平均は50,000円、最高値のビッドはJOF市場で50,200円、最安値のオファーは49,300円だった。

JOF市場の成約は、京浜で200kl×10で、50,100~50,700円。いずれもTG/KYGの未添加オプションが付されており、大手商社の買い/商社系ディーラーや商社の売りだった。OTC市場では、前日にまとまった数量が手当てされたこともあつてか、元売り向け商談が進展し

た形跡はなかった。ディーラー間では、先物4月限(49,360円)並みのビッドは確認される一方、50,000円台前半で成約に進展した形跡がある。需要のある月初のうちに早めに玉を捌くべく、先物価格を1,000円程度上回る水準であれば、応じる売り手はいるようだ。

市況連動商談は、JOF市場で月間平均レス300円のビッドに対し、オファーはプラス200円でプレミアム圏に

留まったままだった。固定値に換算すると、49,600～50,100円に相当する。

西日本では、OTC市場で50,000円のビッドが継続して提示された。オファーは49,200円と、いずれも前日水準から変わらず、ビッドとオファーは逆転したままだ。

JOF市場では、大西で48,200円のビッドに対し、オフ

ァーは49,200円、阪神で50,200円だった。OTC市場では、引き続き四国の中堅元売りが買いのタイミングを探っているものの、この日も進展はなかった。50,000円の買いアイデアが伝えられる。ただ、一般的には西日本の陸上価格も軟調なことから、ディーラー間で積極的な買い気はみられないという。

在庫内訳	単位:kI	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	952,814	-72,193	545,111	48,325	1,497,925	-23,868
西日本	465,043	33,597	330,087	-87,733	795,130	-54,136
輸出内訳						
東日本	0	0	112,893	-31,242	112,893	-31,242
西日本	19,999	19,999	66,681	59,749	86,680	79,748

○軽油 京浜・前日比500円高の50,000～51,000円 西日本・同500円高の50,000～51,000円

<概況>スポット市況は東西で続伸。原油相場の上昇を受けた。京浜については元売りの買い気も強材料視されている。ペーパー Swap を基準とするこの日の月間平均フラットは東西で50,000円。市況連動商談は東西とも月間平均フラット～プラス1,000円となっている。

<成約>浮上せず。

<元売り市中買い>なし。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー、上段:固定値、下段:市況連動)。

京浜		阪神		大西	
48,500 (500kI) /	-	48,500 (500kI) /	-	-	-
- /	-	- /	-	-	-

<京浜渡し>

成約はなし。最高値ビッドは49,500円、最安値オファーは51,000円だった。この日は唱えの水準が大きく開いた。

市場関係者によると、OTC市場では民族系最大手元売りの市中調達が続く。3月前半渡し物を53,000円程度で買い付けていたもよう。このため同市場では53,000円超で売り唱えるプレーヤーが散見されるが、中には53,000円という買値について、いつまで続くか懐疑的な向きもある。同元売りは前半渡し物を高く買い唱え、後半物は唱えを下げる例もある

からだ。直近では2月がこれに該当する。こうしたなか、ある市場関係者は陸上スポット価格並みとなる51,000円の売唱えを提示する。値取りより、3月の販売枠消化を優先した格好。53,000円には大分及ばないものの、51,000円は輸出採算価格を上回っており、またクラックマージンを考えても、買い手が付くなら販売意欲が刺激されるという。

OTC市場では陸揚げを念頭に49,500円の買いアイデアが提示された。だが、現状で陸上価格を大きく割り込んでまで、売り応じる商社、ディーラーは見

当たらない。JOF市場ではさらに安い48,500円のビッドもセッション終了時点で残っていたが、オファーは1件も提示されず。48,500円で買い唱えたプレイヤーは「自社の販売枠は残っているが、仮に

48,500円で買えるなら陸揚げ、転売も含めていろいろな展開が考えられる」と提示の背景を説明していた。

<西日本渡し>

成約はなし。最高値ビッドは49,500円、最安値オファーは51,000円だった。足元では両者の値位置が乖離している。

月変わり直後とあって、市場は閑散とした状況だ。有力な買い手と目される四国の中堅元売りもマーケットから離脱している。同元売りはOTC市場で、輸出採算価格を参考とする50,500円の買いアイデアを寄せているが、近々に手当てに動く気配

はない。商社、ディーラー勢からは、陸揚げ見合いで49,500円の買いアイデアが提示された。一方、51,000円なら売りに応じるとする向きがある。京浜と同じく、陸上スポット価格、輸出採算、クラックマージンを意識した数字だ。未確認ながら、ブローカー経由では約50,200円に相当する月間平均プラス200円程度の売唱えもあるようだ。

在庫内訳	単位:kI	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	865,081	-27,611	478,274	-41,093	107,551	23,500
西日本	743,393	-27,501	269,649	4,119	59,628	-62,195

○A重油京浜・前日比200円高の48,200~49,200円 西日本・前日比200円高の48,200~49,200円

<概況>東西ともに小幅高。原油相場の上昇に加え、元売りが京浜で買付けに動いたことが相場を押し上げた。市況連動商談は京浜が月間平均レス500円~レス200円に移行する一方、西日本は月間平均レス500円~プラス500円と変わらず。

<元売り市中調達>民族系最大手元売りが1,000kI程度を49,000円台前半~半ばで買い付けたようだ。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー)

上段:固定値、下段:市況連動)

京浜	阪神	大西
- / -	- /49,300 (500kI)	- / -
-500 (500kI) / -200 (500kI)	- / -	- / -

<東西渡し>

京浜では、OTC市場で49,200円までの売りアイデアが提示された。原油相場が上昇したことから売り気がやや後退、取引可能な水準が切り上がっている。民族系最大手元売りが1,000kI程度を49,000円台前半~半ばで手当てしたもよう。元売りによる買いが出たことで手持ちを抱えるプレイヤーも

積極販売に及び腰となった面もありそうだ。商社、ディーラー間での買唱えはアイデアベースでも浮上せず。商社によると、3月渡しの直売価格が固まっていないため、買値を決めかねているようだ。

西日本は京浜と同水準まで相場が切り上がった。JOF市場の阪神で49,300円のオファーが提示され

たほかに、売買唱えの提示はなし。元売りが動意付いた形跡もみられなかった。市場参加者からは東西格差はないとの見方が伝えられた。

市況連動商談では、JOF市場で京浜渡しの月間平均レス500円のビッドと月間平均レス200円のオフ

ァーが提示され、これが相場を形成している。一方、西日本では売買唱えの提示はなし。取引可能な水準は、月間平均レス500円～プラス500円と、前日から変化はみられなかった。

在庫内訳	単位:kI	前週比	輸出	前週比
東日本	271,923	-13,882	1,019	-27,123
西日本	198,223	6,368	12,879	12,403

OLSA重油京浜・前日比200円高の48,400～49,400円 西日本・前日比200円高の48,400～49,400円

<概況>東西ともに小幅に上昇。原油高や元売りの調達が相場を押し上げた格好だ。市況連動商談は京浜が月間平均レス300円～プラス100円、西日本が月間平均レス500円～プラス500円といずれも相場は変わらなかった。

<元売り市中調達>民族系最大手元売りが500kI程度を49,000円台後半で調達したもよう。

<JOF市場>午後2時30分時点の各唱えは以下のとおり(最高値ビッド/最安値オファー)

上段：固定値、下段：市況連動)

京浜	阪神	大西
- / -	- /49,500 (500kI)	- / -
- / -	- / -	- / -

<東西渡し>

京浜は原油相場の上昇を受け、A重油対比200円高の水準を維持する格好で相場が切り上がった。元売りや商社が出物の物色を進めたようで、こうした買い気も相場が押し上げる要因となっているようだ。民族系最大手元売りは500kI程度を49,000円台後半で手当てしたもようだ。JOF、OTC市場で売買唱えは寄せられなかった。

西日本は京浜につれ高となった。同水準を維持している。OTC市場では、商社がまとまった数量を買い付けたようだが、詳細は他言無用(P&C)だった。

市況連動商談では、売買唱えの提示はなし。京浜が月間平均レス300円～プラス100円、西日本が月間平均レス500円～プラス500円といずれも市況は変わらなかった。

在庫内訳	単位:kI	前週比	輸出	前週比
東日本	166,821	-2,635	4,535	3,260
西日本	101,702	2,282	0	-107

OLSC重油京浜・前日と同じ43,500～44,500円 西日本・前日と同じ43,500～44,500円

<税込み輸入採算価格>日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は171円安の48,744円

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	419,221	39,951	56,461	3,397	0	-18,379
西日本	259,017	-5,375	21,622	-17,526	0	-5,405

OHSC重油京浜・前日と同じ38,500~39,500円 西日本・前日と同じ38,500~39,500円

<概況>東西ともに横ばい。市況連動商談は、東西ともに月間平均レス500~プラス500円を維持している。

<東西渡し>

東西ともに売買唱えの提示はなし。月替わり初日ということもあり、各社とも完全な様子見ムード。大きな変動要因もなく、市況は前日から同水準で推移しているという声が聞かれた。市況連動商談でも目立った動きは無く、取引可能な水準は前日から変わらなかった。東西ともに月間平均レス500~プラス500円のままだ。

<ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格>京浜の180cstベースで前日比8円安の40,741円。

<硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格>前日比204円安の42,373円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	776,911	33,834	5,553	5,553	39,319	-67,666
西日本	531,675	11,118	2,222	2,222	44,871	5,196

○スワップ取引・東商取概況

スワップアセスメントの基準ナンバーは午後3時~4時

<スワップ取引3月限>上伸。先物価格の上昇や現物価格の買い気を映した。ガソリンは54,000~55,000円で前日比500円高に上昇。JOF市場では、53,800円のビッドだが、OTC市場では55,000円のオファーが提示された。灯油は49,400~50,400円と前日から600円高に反発。OTC市場では、先物4月限並の49,400円のビッドが寄せられた。軽油は49,500~50,500円で前日から500円高に続伸。

A重油は48,200~49,200円、LSA重油は48,400~49,400円。LSC重油が43,500~44,500円、HSC重油は38,500~39,500円。いずれも現物と同値。

<東商取先物>原油は上昇した。製品市況では、ガソリンが値ごろ感から売りが散見された一方、灯油は買い戻された。原油と比較した当限のクラック・スプレッドは、ガソリンが前日比690円縮小の14,010円、灯油が前日比60円拡大の10,080円となった。

◎国内石油製品海上JOF・OTC成約

JOF成約は午後2時~2時30分に限定

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
ガソリン	京浜	OTC	500	54,900		
ガソリン	京浜	OTC	1,000	市況+300		54,800
ガソリン	阪神	OTC	500	54,900		
ガソリン	阪神	OTC	500	54,900		
ガソリン	阪神	OTC	500	54,600		
灯油	京浜	JOF	200	50,700	TG/KYG未添加OP	

灯油	京浜	JOF	200	50,100	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP+100円
灯油	京浜	JOF	200	50,200	TG/KYG未添加OP

◎マーケットニュース
○JXエネ=2日以降の先行指標、ガソリンは1円引上げ

JXエネルギーは1日、2~8日出荷分に適用する先行指標価格について、ガソリン、軽油、重油を1円の引上げ、灯油を1円の引下げと通知した。複数の大手特約店が明らかにした。

昭和シェル石油は2月28日、3月1~7日出荷分に適用する系列向け卸価格をガソリン、軽油で2円、灯油、重油で1円引き上げると通知していた。

○出光興産=2日以降の系列仕切り価格、ガソリン2円引き上げ

出光興産は2日以降出荷分に適用する系列向け仕切り価格について、ガソリンを2.0円、軽油、重油を1.0円それぞれ引き上げる一方、灯油を据え置くと通知した。複数の特約店が1日に明らかにした。

JXエネルギーは2日からの先行指標価格について、灯油を1.0円引き下げの一方、その他の油種を1.0円引き上げると通知した。

○東商取=ドバイ原油2月限の最終決済価格、3万8,000円台で

東京商品取引所は、ドバイ原油2月限の最終決済価格は前月1月限を40円下回る3万8,730円になったと発表した。

○石油製品輸入業者数=17年2月末時点、前月から変更なし

石油備蓄確保法に基づく石油製品輸入業者数は、複数の市場関係者によると、2017年2月28日時点で増減はなく、49社。社名変更もなかった。3月中に新規申請を提出している業者も、現時点ではないようだ。

直近では、8月30日に朝田商会在が廃業届を提出している。

○原油・石油製品供給統計週報=<石油連盟全国>

	今週	前週	前週比
	2/19~2/25	2/12~2/18	
製油所稼働状況			
週間原油処理量(kl)	3,914,360	3,959,866	-45,506
週間トッパー実稼働能力(b/d)	3,789,700	3,789,700	+0
週間トッパー実稼働率	92.8%	93.9%	-1.1
週間トッパー設計能力(b/d)	3,789,700	3,789,700	+0

週間トッパー設計能力稼働率	92.8%	93.9%	-1.1
石油製品週末在庫			
ガソリン	1,710,857	1,863,773	-152,916
ナフサ	1,324,503	1,512,884	-188,381
ジェット燃料油	875,198	914,606	-39,408
灯油	1,417,857	1,456,453	-38,596
軽油	1,608,474	1,663,586	-55,112
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	268,523	268,876	-353
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	470,146	477,660	-7,514
A 重油計	738,669	746,536	-7,867
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	678,238	643,662	+34,576
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	1,308,586	1,263,634	+44,952
C 重油計	1,986,824	1,907,296	+79,528
合計	9,662,382	10,065,134	-402,752
原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	13,032,218	12,296,166	+736,052
粗ガソリン	2,652,057	2,659,129	-7,072
粗灯油	517,190	624,725	-107,535
粗軽油	747,923	784,897	-36,974
粗 A 重油	634,297	650,763	-16,466
装置原料	2,694,723	2,697,314	-2,591
合計	7,246,190	7,416,828	-170,638
石油製品生産量			
ガソリン	983,524	1,075,909	-92,385
ナフサ	444,156	393,922	+50,234
ジェット燃料油	203,427	237,013	-33,586
灯油	574,106	486,487	+87,619
軽油	813,915	880,963	-67,048
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	163,402	154,356	+9,046
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	131,713	192,741	-61,028
A 重油計	295,115	347,097	-51,982
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	41,585	48,290	-6,705
HSC 重油 (S 分 0.5%超)	329,704	341,948	-12,244
C 重油計	371,289	390,238	-18,949
合計	3,685,532	3,811,629	-126,097
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA 重油 (S 分 0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA 重油 (S 分 0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A 重油計	n. a.	n. a.	-
LSC 重油 (S 分 0.5%以下)	78,083	92,212	-14,129

HSC 重油 (S分 0.5%超)	7,775	0	+7,775
C 重油計	85,858	92,212	-6,354
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出量			
ガソリン	161,152	132,947	+28,205
ナフサ	12,500	0	+12,500
ジェット燃料油	179,574	151,067	+28,507
灯油	19,999	0	+19,999
軽油	167,179	205,874	-38,695
LSA 重油 (S分 0.1%以下)	4,535	1,382	+3,153
HSA 重油 (S分 0.1%超)	13,898	28,618	-14,720
A 重油計	18,433	30,000	-11,567
LSC 重油 (S分 0.5%以下)	0	23,784	-23,784
HSC 重油 (S分 0.5%超)	84,190	146,660	-62,470
C 重油計	84,190	170,444	-86,254
合計	643,027	690,332	-47,305
単位 : kl			

「n. a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国

	2017/2/19~2/25		前週比		前年比(2/21~2/27)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	975,288	139,327	+18.4	+151,296	-4.9	-50,776
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	63,261	9,037	-18.4	-14,309	-65.3	-118,966
灯油	592,703	84,672	+6.3	+35,238	-0.4	-2,587
軽油	701,848	100,264	+14.3	+87,568	-4.7	-34,387
LSA 重油	159,220	22,746	+0.3	+402	-3.9	-6,431
HSA 重油	125,329	17,904	-22.4	-36,093	-24.5	-40,644
A 重油計	284,549	40,650	-11.1	-35,691	-14.2	-47,075
LSC 重油	85,092	12,156	-24.4	-27,441	-26.2	-30,185
HSC 重油	208,337	29,762	-15.7	-38,685	-8.2	-18,523
C 重油計	293,429	41,918	-18.4	-66,126	-14.2	-48,708
合計	2,911,078	415,868	+5.7	+157,976	-9.4	-302,499

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷=前週末製品在庫+当該週生産+当該週輸入-当該週輸出-当該週末製品在庫

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:info@rim-intelligence.co.jp rim@gol.com

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先:<https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/20110526.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A 重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み



--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail:
info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725
Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415
e-mail:info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,
e-mail:hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725
e-mail: guanhong@rimbj.com

[インド支局] Tel:(91)-98795-50717, e-mail:kamlesh@rim-intelligence.co.jp

[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2017 RIM INTELLIGENCE CO.